

2022（令和4）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
みどりの森 就労継続支援B型

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するためお互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①多機能型の特性を活かした運営を行なう。

・行事だけでなく、日課のプログラムにもお互い参加できた。次年度は個別支援計画を連動し、さらに利用できるようにしたい。

②地域の方と円滑な関係を築く。

・移転前の諏訪町自治会のソフトボール部と合同でTボール大会を実施できた。また新たな地域である野口町自治会長らと懇談を持ち、これからの関わりについて話をする事ができた。
・環境美化に努め、清掃中地域の方から声をかけられるようになった。またミニバザーが少しずつ認知されるようになってきた。

③地元の畑で一連の農作業を体験し、学ぶ。

・定期的実施でき、回数も増え、多くの利用者が参加して学ぶことができた。

④感染症対策を継続し、安全に安心して通所できるように環境を整える。

・玄関に入ってから検温、消毒、手洗い、軍手・雨具を片づけてからロッカーで着替える等、作業室に入るまでの動線を整備し、対策を行った。
・消毒について、朝夕チェックリストを用いて施設内を確実に実施すると共に、昼食時は個々が使用するたびに、またトイレは1日6回以上職員による消毒を行った。

⑤現在企業就労している人の支援と共に、希望者に企業実習、短時間就労等の社会参加の機会を提供する。

・勤務継続と実習継続はできたが、就労Bでの新規開拓はできなかった。

（3）中期目標（令和4年度～令和6年度）

①多機能型の特性を活かした運営手段を確立する。

- ・就労Bと自立訓練それぞれのプログラムに、各々の利用者が必要に応じて参加する事ができた。次年度は個別支援計画等、より個々に寄り添う支援が実施できる見通しができた。
 - ・送迎や必要な職員を補う等、緊急の場合にも対応できた。
- ②新たな地域で回収や清掃活動、バザーを行うことで地域と良好な関係を築く。
- ・折に触れて環境美化に努め、地域の方から声をかけて頂けるようになった。また年度の途中から始めたミニバザーも少しずつ認知され始め、こちらも声をかけられるようになってきた。
- ③職員一人一人が自らの役割を明確化し、チーム一丸となってより良いサービスを提供する。
- ・ケース会議録、職員会議録、個別支援計画等回覧して共通理解できるよう努めた。また必要な情報を共有しつつチームで支援するという意識を持てるよう職場内研修や話し合いを持った。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 31名（利用者数28名）
- (3) 開所年月 平成21年4月
- (4) 施設規模
- | | |
|------|-----------------------------|
| 敷地面積 | 539.34㎡ |
| 延床面積 | 280.54㎡（専有99.45㎡ 共有141.25㎡） |
| 建物構造 | 木造1階建て |
| 賃貸区分 | （土地）民間より賃貸 （建物）民間より賃貸 |

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名（兼任）
サービス管理責任者	1名（兼任）
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名 ※
支援員（非常勤職員）	8名 ※2名調理と兼務
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	3名 ※
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）（4回／年）	1名（兼任）
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	17名

※自立訓練と兼務

(2) 嘱託

医師（4回／年）	1名（兼任）
----------	--------

看護師 (0回/年)	0名
作業療法士 (0回/月)	0名
合計	1名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	1名	9名	13名	5名	0名	28名
身障手帳	1名	2名	0名	0名	0名	3名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳、精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 38.2歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	0名	5名	5名	3名	5名	0名	18名
女	1名	2名	5名	1名	0名	1名	10名
合計	1名	7名	10名	4名	5名	1名	28名

最低年齢 男…26歳 女…19歳 最高年齢 男…53歳 女…80歳

平均年齢 男…38.8歳 女…37.1歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区	合計
26名	1名	1名	28名

(4) 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	未定	合計
人数	0名	1名	7名	7名	6名	7名	28名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退所者	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2
月末数	30	30	30	30	28	28	28	28	28	28	28	28	344
延べ日数	660	690	600	690	644	616	644	616	644	644	560	644	7,652
延べ人数	622	601	510	618	569	591	603	583	588	576	538	621	7,020
出席率(定員)	91.2	84.3	82.3	86.7	79.8	86.7	84.6	85.5	82.5	80.8	86.8	87.1	84.8
出勤率(現員)	94.2	87.1	85.0	89.6	88.4	95.9	93.6	94.6	91.3	89.4	96.1	96.4	91.8

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ウォーキング・ストレッチ
9:00～11:30	作業

11:45~13:00	昼食・昼休み
13:00~15:30	作業
15:30~15:45	清掃
15:45~16:00	終礼・帰宅

(2) 土曜日

8:30~9:00	朝礼・ストレッチ
9:00~11:20	作業
11:20~11:30	作業片付け
11:30~12:00	昼食・終礼・帰宅

※コロナ対策として、密を避けて昼食時間を11:45~と変更し、人数調整を行った。

6. 重点目標

(1) 地域との関わり

- ①除草や回収など得意なことを作業で請け負うことで地域住民に貢献していく。
 - ・回収は個別依頼もあり、2つの地域で対応しきれないほど需要があった。
 - ・草取りは貢献できたと思うが、天候の影響もあり予定が乱れる事があった。時期を踏まえて、更なる細分化をしていきたい。
- ②日常的に地域清掃に努めるとともに、地域のイベントへの参加や定期的なバザーを開催することで新しい地域に事業所の理解を広めて良好な関係を築く。
 - ・環境整備や、ミニバザーはまだ始めたばかりだが、少しずつ声をかけられるようになった。地域のイベントはまだほとんど開催されていないが、Tボール大会など、少しずつ実施できるようになった。

(2) 健康・衛生

- ①コロナ禍が続く中、感染症対策のため日常的に利用者、職員の健康状態を把握し、衛生的な環境整備の徹底を図る。
 - ・年度初めにクラスターが出たが、関係各所と連携し早期に収束できた。その後感染症対策を見直すなど環境整備を徹底する事ができた。
- ②理学療法士による個々のプログラムの実施等、身体機能の維持向上を図る。
 - ・個別支援計画につなげ、個々に有効に活用できた。
 - ・理学療法士相談 6/15 9/2 12/10 3/10
- ③定期健康診断、歯科健診、インフルエンザワクチン接種、体重血圧測定その他、婦人科健診を行ない、利用者の健康状態を把握し、家庭等とデータ共有をし、必要に応じて適切な医療機関へ繋げる。
 - ・各健診実施その他、月1回体重、血圧測定を実施し、高め数値の場合は家庭や医療と連携し対応を考えた。
 - ・定期健康診断（ひなたの道にて）白十字病院 4/12
インフルエンザワクチン接種 11/7
歯科健診 折笠歯科医院 2/16

(3) 作業・就労活動

- ①多機能型の特性を活かし自立訓練と連携し、B型からの作業提供や利用者の特性に応じて

自立訓練の日中活動プログラムに参加するなど利用者により良いサービスを提供する。

- ・自立訓練への作業の提供の他、行事も共に実施できた。また就労Bの利用者が、自立訓練の提供する生活プログラムに参加するなど、就労Bではやりきれないサービスを有効に提供する事ができた。

② 室内が密にならないよう、施設外就労・回収・除草・農作業・近隣の清掃などの外作業の充実化を図る。

- ・外作業がない日は野口町内の環境整備を行い、室内の人口密度が過多にならないよう配慮したり、作業の入出荷をコントロールするなど、調整を行った。

③ 現在就労している人が安心して働き続けられるよう関係機関と連携しフォローしていく。またニーズに応じて外部実習や短時間雇用の開拓・支援を行ない、就労施設とは違った新しい社会参加の形を提供する。

- ・企業へのフォローは電話を中心に実施し、継続できた。企業実習については自立訓練では実施できたが就労Bでは新たな実習はなかった。

④ 畑で地域の方々と交流しながら土作りから種まき、除草、収穫、摂取するまで、一連の農作業を体験するとともに季節の野菜を育てる楽しみを感じ心身の安定を図る。

- ・畑作業に向かう回数が増えた。また収穫した野菜を率先して家庭で宣伝し、寄付を募るなど、自らが育てた野菜を価値あるものと捉えるようになった。

事業所内活動

(単位：円)

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	令和3年度収入	令和4年度収入
自主製品	豊島屋・うさと展他	焼き菓子	週2回	10名	184,060	0
清掃事業	西武・武蔵野パートナーズ	中央公園清掃	月8回	8名	732,600	871,594
	白十字ホーム	施設内の草取り	6月～10月	8名	60,780	62,124
	久米川1丁目アパート自治会	都営住宅草取り	6月～11月	全員	264,000	0
	東村山市	屋外体育施設清掃	月4回	全員	149,400	0
	個人宅	マンション清掃	月2回	4～6名	60,000	60,000
	全生園、個人宅他草取り	草取り	6月～3月	全員	35,000	426,036
	グリューネスハイム	草取り	12月～1月	4～6名	84,700	46,200
受託事業	(福)平成の里	封入・シール貼り	随時	全員	654,673	387,607
	(株)新日本包装	箱折り・組み立て	随時	全員	143,680	199,510
	(株)プロメディア	封入・シール貼り	随時	全員	360,101	370,354
	みつばち	付録解体	随時	全員	384,901	207,174
	新光(株)	ダンボール組立て	随時	全員	115,000	120,000
	ひなたの道	サンプル貼り・封入	随時	全員	128,718	113,931
	みらい図	丁合	随時		0	54,946
	ポストウェイ	ポスティング	随時	全員	0	127,420
	Miyoshi	タイトニック	随時	全員	1,872	55,515
その他事業	市内・近隣地域	古紙・リサイクル品回収	週2～3回	8名	1,556,911	2,628,675
	ミニバザー	リサイクル販売	月2回	8名	312,404	156,407

小計①	5,228,800	5,887,493
-----	-----------	-----------

パート・アルバイト (単位：円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和3年度収入	令和4年度収入
パート契約	セイコー物流	倉庫業務	週3日	1名	659,510	596,043
パート契約	ハーベスト	給食食器洗浄	週5日	1名	1,039,214	1,092,285
パート契約	白十字ホーム	下膳	週1日	1名	134,731	190,650
小計②					1,833,455	1,878,978
合計①+②					7,062,255	7,766,471

工賃支払実績 (単位：円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	399,190	13,306	27,280	3,000	162,641
5月	300,600	10,020	21,700	4,700	164,914
6月	163,300	5,443	10,200	3,100	176,423
賞与	309,000	10,300	14,000	5,000	0
7月	246,500	8,217	19,800	4,300	157,909
8月	365,700	13,061	28,500	5,600	152,601
9月	337,100	12,039	24,400	5,300	102,492
10月	280,000	10,000	21,500	4,600	191,586
11月	306,100	10,932	24,200	4,500	188,168
12月	276,600	9,664	21,000	4,400	187,803
賞与	277,000	9,893	13,000	9,000	0
1月	373,200	13,329	30,400	6,200	164,557
2月	309,000	11,036	20,400	4,300	109,900
3月	484,800	17,314	31,500	6,900	119,984
合計	4,428,090	154,554	307,880	70,900	1,878,978
平均	369,008	12,880	25,657	5,908	156,582

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

(4) 給食

①利用者の健康状態に基づき、可能な限り個別の希望に応じた献立を提供する。

- ・体調不良者にはおかゆや少量の食事に対応し、食べやすさにも応えてハサミで小さく切る等の配慮を行った。
- ・提供形態をおかゆにするなどの対応できていたと思う。
- ・リクエスト食で、利用者の希望が反映できた

②栄養基準量 (一人当たりの栄養基準量)

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
計画	804kcal	29g	127.8g	23.8g	258mg	0.47mg	0.53mg	38mg
実績	609Kcal	24.2g	83.3g	21.1g	115mg	0.36mg	0.28mg	32mg

(5) 自治会活動

毎月1回話し合いの場を設け、利用者が日々感じている事を発信する場を提供し、要望などを

具体化する支援を行なう。また自分の意見を伝える力を養うことで自信に繋げていくとともに、自分の意見が取り上げられるという体験を通し日課に興味を持ち積極的に過ごす事ができるよう支援していく。

- ・行事に向けての話し合いや、生活する中でのマナーやモラルの話など、その時に適した話題で自治会を実施することが出来た。

(6) 行事

①クラブ活動（隔月実施）

種 目	主な活動場所
物づくり	みどりの森作業室 →職員の手助けは必要なものの、個人の味を生かせるような作品作りが出来た。
ポッチャ	みどりの森作業室 →ポッチャだけでなく、ゲーム等楽しみながら身体を動かした。※隣の保育園児も招待して一緒に楽しんでどうか ・利用者が上手なので、大会ができると良い
買い物・カフェ	イオンモール・イトーヨーカドー→・実施できた。 ・コロナの影響があり、外で飲食ができない事があった。買い物のバリエーションを拡げるため行く場所をこだわってみた ・上記以外にも出かけている

②年間行事（自立訓練と合同で実施）

日付	内容	場所	目的	人数
7/11, 12, 19	防災体験	立川防災館	煙・地震・消火を体験する事により利用者、職員共に防災意識の向上を図る。	29名
8/10	暑気払い	みどりの森	お祭り形式で紙の通貨を使い買い物体験しながらお金の使い方を学ぶ。またグループごとの対抗ゲームを通して仲間意識を深める	40名
11/3	運動会	八坂小学校	法人全体で行うことで交流と一体感を持つ。身体を動かす楽しさを味わう。	25名
11/16	グループ別外出「みかん狩り」	小林農園	近隣の農園で自分の手でみかんを収穫する体験をすると共にグループの一員として各々が担う役割を果たす。	7名
11/22	グループ別外出「陶芸」	花小金井陶芸教室	陶芸創作活動を通じて自己表現として形や模様などを作り、完成した作品を発表する。また当日の役割を果たす。	5名
11/29	グループ別外出「西武園ゆうえんち」	西武園ゆうえんち	自ら選択した遊園地散策を目的にグループで話し合い、各々が担う役割を責任をもって果たしながら行動する。	20名
12/4	Tボール大会	化成小学校	Tボールを通して身体を動かす楽しさを実感すると共にお世話になった諏訪町地域の方々と交流を図る。	28名
12/24	クリスマス会	みどりの森	クリスマスの音楽・ゲーム・食事を通してクリスマスを楽しむ。会場設営から利用者が関わり、利用者主体の行事とする。	31名
1/15	成人を祝う会	中央公民館	人生の節目を祝う。	21名
3/24	納会	みどりの森	1年間を振り返り、利用者に思った事を表現してもらう場とする。	40名
3/30	お花見ウォーキング	北山公園周辺	桜を楽しみながら、健康維持のために天気の良い日にみんなで歩く	38名

7. 防災訓練

(1) 防災

- ①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行なう。

- ・実施できた。防災食体験も実施した。災害時の服薬預かりについても事業所を移転して改めて実施した。
 - ②市、関係機関などと協力し機能を果たせる準備を整える。
 - ・自治会と相談しながら検討中。
- (2) リスクマネジメント
- ①事故対応マニュアルを施設内・車両に常備し、緊急時に対応できるようにしておく。また毎日乗車前に車両と運転者の状態を確認する。
 - ・緊急時でも対応できるように準備。今年10月よりアルコールチェックが必須となったので、毎日検査を実施し、安全を確保した。
 - ②構造化された安全な環境作りのため、常に整理整頓を実施し、定期的な大掃除を行う。
 - ・年2回の大掃除を実施済み。12月はさらに利用者個人のロッカーも利用者本人と一緒に掃除を実施した。
 - ③安全運転管理者を中心に職員の運転チェックを年1回程度行い、安全運転への意識を恒常化していく。
 - ・安全管理者が不在のため、車両チェックを担当する職員が代わりに行った。またヒヤリハットの報告を毎日行った。
 - ④令和3年度に実施したコロナ対策をベースに情報収集を行い施設に合った対策を実施する。
 - ・実施できた。今後も守りの姿勢を継続していきたい。

8. 地域との交流

- (1) 挨拶、清掃活動、除草、回収作業など積極的に行ない、日常的な関係を充実させる。
 - ・地域の環境整備は定期的実施し、その際にみどりの森だと一目で分かるようにゼッケンをつけて整備を行った。
- (2) 施設祭、ボランティアの受け入れ、地域イベントへの参加、近隣学校との交流など啓発活動を行なう。
 - ・2年ぶりにTボールを諏訪町自治会と一緒に実施できた。
 - ・社協を通してボランティアの受け入れを行った。今後もコロナの感染状況を見ながら積極的に受け入れていきたい。

9. 実習生の受け入れ

- (1) コロナ対策を検討した上で希望があれば特別支援学校・在宅者の受け入れを行ない、将来の進路選択につながる機会を提供する。
 - ・特別支援学校より実習生を受け入れた。次年度も積極的に受け入れ機会を提供したい。
- (2) コロナ対策を検討した上で大学からの実習を受け入れ、福祉職員の養成の一端を担うとともに、人材確保の機会とする。
 - ・利用者が楽しみにしているので来年度は実施できると良い。

10. 保護者会との連携

- (1) 支援の充実を図るため、家族の方との情報交換を密に行なう。
 - ・保護者を介護保険につなげる事ができた。今後も個人情報の取扱いに配慮しながら可能な

限り情報を透明化していく。

- (2) 事業所の活動への理解を深めるため、定期的に保護者会を行なう。
 - ・福祉センターで行った。今後どのような保護者会にしていくか、内容を充実させたい。
- (3) みどりの森便りを月1回発行し、活動状況を発信する。
 - ・内容充実できるよう協力を得られた。みどりの森だよりでは写真と文章のバランスを考えて掲載をした。
- (4) 家族が参加できる行事を行ない、交流の場とする。
 - ・運動会ではご家族と利用者との交流、職員とも交流できてよかった。

1.1. 職員研修

- (1) 福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得する。
 - ・ZOOMによるWEB研修を行い、職員のスキルアップを目指すことが出来た。
- (2) 研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行なう。
 - ・ひなたの道の応援などで他施設に行くことが増えた。また出向した事によって日ごろの支援方法を見直すこともできた。
- (3) 法人全体で定期的に行う安全運転講習会に参加し、安全運転に対する意識を高める。
 - ・実施した。ミーティングでヒヤリハットを報告するのは効果的だった。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
全体職員研修	4/1	社会福祉法人山鳩会	みどりの森食堂 (ZOOMにて)	全員
今般のオミクロン株の流行を踏まえた感染拡大予防に関するオンライン研修	7/5	東京都福祉保健局	みどりの森相談室 (Web研修)	前森直美
強度行動障害支援公開講座	7/7	東社協知的発達障害部会	みどりの森相談室 (Web研修)	瀬沼未来
利用者ご家族との信頼を築くコミュニケーションの在り方	7/20	東社協知的発達障害部会	みどりの森相談室 (Web研修)	小嶋啓介
労働基準法等に関する研修～福祉事業所経営に求められる労務管理とは～	7/25	東京都福祉人材センター	みどりの森食堂 (Web研修)	加藤貴子
食品衛生責任者養成講習会	7/22, 26, 27, 28, 29	日本食品衛生協会	みどりの森相談室 (Web研修)	神澤いづる
知的障害を伴わない発達障害の方への支援事例や、当事者のご家族を含めた支援の実際	9/5	NPO法人東京都発達障害支援協会	みどりの森相談室 (Web研修)	真崎ひろみ
ハラスメント防止法の成立と実務対応	9/7	株式会社JIC	みどりの森相談室 (Web研修)	真崎ひろみ
社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ	9/14	東京都福祉保健局生活福祉部地域福祉課	みどりの森相談室 (Web研修)	白水楓子
社会福祉事業従事者人権研修Ⅱ	9/26	東京都福祉保健局生活福祉部地域福祉課	東京都社会福祉保健医療研修センター	加藤貴子

初任者研修	9/27, 28	東京都福祉人材センター	みどりの森相談室 (Web 研修)	瀬沼未来
東京都相談支援従事者 初任者研修	10/13, 14, 11/15, 12/19, 20	東京都心身障害者福祉セ ンター	みどりの森相談室 (Web 研修)	菊地仁恵
令和4年度栄養管理講 習会	11/30	東京都多摩小平保健所	みどりの森相談室 (Web 研修)	神澤いづる
高齢知的障害者への支 援のあり方～認知症を 中心として～	1/19	東社協知的発達障害部会	みどりの森相談室 (Web 研修)	前森直美
成年後見制度	1/20	東社協知的発達障害部会	みどりの森相談室 (Web 研修)	真崎ひろみ
社会福祉事業従事者人 権研修Ⅱ	1/24	東京都福祉保健局生活福 祉部地域福祉課	東京都社会福祉保健 医療研修センター	小嶋啓介

12. 会議

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	・自立訓練と合同で実施できた。
評価・アセスメント会議	2回/年	アセスメントの見直し、個別支援計画 ・時間がかかった。効率的な方法を試行したい。
給食会議	1回/月	メニューの要望、振り返り 隔月になったが、メニューに反映できた。
ケース会議	3回/月	利用者個々の課題について ・年間計画があったので確実に実施できた。じっくり考える 機会となっている。

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

- ①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。
 - ・自治会を利用するなど努めた。
- ②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。
 - ・室内の掲示板にて掲示しているが、利用者への周知はまだ課題がある。自治会等を通して利用者に説明する機会を増やしたい。

(2) 個人情報保護

- 個人情報保護規定に基づき、個人の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切且つ安全に取り扱う。
- ・USB置き場を徹底し、漏洩防止に取り組んだ。

(3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

- ①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。
 - ・定期的に確認を行った。

②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的を開催する。

・法人内で実施した。

③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。

(4) セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止・対応にあたる。

・利用者間でセクハラ発言が目立ち、個別対応を行った。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	042-395-3210
担当者	加藤 貴子	同上
第三者委員	赤木 ふき子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	042-395-3210
担当者（男性）	小嶋 啓介	同上
担当者（女性）	前森 直美	同上

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ	042-395-3210
担当者	小嶋 啓介	同上

14. 人事考課

目標面接	中間面接	10月
	期末面接	3月
振り返りシート		3月